

いいづな歴史 ふれあい館だより

第17号
2022.3.31



特別展「飯綱町の文化財」開催!!

町内外の多くの方々にご覧いただきました

1年の延期を余儀なくされた町制15周年記念特別展『飯綱町の文化財』が令和3（2021）年9月26日（日）～11月28日（日）に無事開催されました。旧村時代に指定されてきたものから、飯綱町誕生後に新たに指定等がなされたものまで、全33件の町の文化財が初めて勢ぞろいした多彩な展示となりました。

来館者の方々に「とくに気になった文化財は？」とお尋ねしたところ、願法寺（古町）の「木造親鸞聖人像」にもっとも多く関心が集まりました。荒々しい彫りと厳しさと深みのある造形に、親鸞聖人の御心に触れるような感慨をもった方が多かったようです。小野遺跡（芋川）から出土した縄文時代の「注口土器」や希少な和リングの「高坂りんご」などにも多くの関心が寄せられました。「話には聞いていたが、今回初めて見ることができた」という感想が多く聞かれました。歴史ふれあい館で開催した「連続文化財講座（全14回）」も好評で、文化財の見どころや背景について理解を深めていただくよい機会になりました。

「有形」・「無形」・「史跡」・「天然記念物」など、個性のかつ多様な文化財の数々に触れると、改めて町の自然・歴史・文化の豊かさが実感されます。特別展開催にあたりご理解とご協力をいただいた多くの皆様に、深く感謝を申し上げます。

◆指定等がなされている町の33件の文化財をわかりやすく紹介した特別展図録『飯綱町の文化財』は、この町を深く知るために最適の手引きです。歴史ふれあい館にまだ在庫があり、ご希望の方は1冊800円で購入できます。



開幕式典での峯村町長あいさつ（9月26日）



特別展会場の様子

ごあいさつ

館長 富樫 均

令和3年度も前年からの新型コロナウイルス禍は収束せず、先の見えない日々が続きました。その中で、多くの方々のご協力を得て、延期になっていた町制15周年記念特別展や関連行事等を行うことができました。

季節とともに毎年繰り返されてきた日常の暮らしが、どれほど大切なものであったかを思い知らされる日々です。たとえば、各地区で行われてきた秋祭りの神楽の奉納なども、2シーズンも中止が続くと技術の伝承等の支障になりはしないか、ひいては地区住民の世代間の結びつきにじわじわと悪い影響があるのではと心配されます。こんな状況下にあるからこそ、今できる最善のことを、心を込めてやっていきたいと思えます。細心の注意をしながら、各種行事の開催と町の自然・歴史・文化の情報発信に努めてまいりますので、どうかご支援とご協力をいただきますよう、よろしくお願ひいたします。

特別展「飯綱町の文化財」記念講演

第1回

苔翁寺山門―修復成果をふまえて

講師：吉澤政己氏（NPO信州伝統的建造物保存技術研究会理事長）
10月30日（土）苔翁寺本堂 参加者35名（飯綱町民限定・定員制）

苔翁寺本堂（芋川）を会場に借りして、苔翁寺山門（寛政10年（1798年）建立、町有形文化財）の構造・形式・特徴について講師から詳しいお話をうかがいました。北信地方では長野市善光寺山門に次いで古い二重門であることや、高度な大工技術が用いられた優れた建築であることが紹介されました。講演のあと参加者は、大修理で美しくよみがえった山門を見学し、講師の説明に耳を傾けていました。



苔翁寺山門見学の様子

第2回

縄文時代の飯綱町

講師：綿田弘実氏（長野県埋蔵文化財センター調査指導員） 11月7日（日）飯綱町民会館ホール 参加者49名（飯綱町民限定・定員制）

講師は昭和50年に町有形文化財「注口土器」が出土した小野遺跡（芋川）の発掘調査に参加されて以来、町域の縄文時代遺跡に関心を寄せ続けておられる研究者です。講演では飯綱町域の縄文遺跡の特色について、詳細な図表や写真を示しながら具体的に解説していただきました。「丸山遺跡出土縄文土器」（高坂、町有形文化財）は日本縄文研究史のうえでも注目される文化財であると紹介され、参加者からは「専門的なお話がたくさん聞けて良かった」などの声がありました。



丸山遺跡出土土器の解説

第3回

火山灰からわかる

飯綱町周辺の成り立ち

講師：竹下欣宏氏（信州大学教育学部准教授） 12月4日（土）飯綱町民会館ホール 参加者79名（定員制）
★信州大学出前講座と共催

町の中で普段何気なく見ている赤土（赤べと）はどうやってできたのでしょうか？火山灰層とローム層に注目し、また町天然記念物「舟石（袖之山）」の成因にも触れながら、町周辺の大地の成り立ちについて、わかりやすくお話をいただきました。講演の後には、東高原で行ったボーリング調査の結果について、会場に持ちこんだ実物の地質標本を見ながら解説していただきました。数十万年にも及ぶスケールの大きな自然の歴史に触れて、参加者から「町の景色を見るのが楽しくなりそう」という感想もありました。



ボーリングコアのはぎとり標本をもとに地層を観察している様子

予告!

令和4年度 いいづな歴史ふれあい館 特別展 『(仮) 飯綱町と水の恵み』

会期：2022（令和4）年9月23日（金）～11月27日（日）

会場：いいづな歴史ふれあい館 2階企画展示室「創起庵」他

飯綱町には三水地区の三用水（芋川用水、倉井用水、普光寺用水）をはじめ、先人が苦労を重ねて築き上げてきた多くの用水や堰（せぎ）があります。また、町の上水道の源となっている地下水や沢水などはどこからどのように来ているのでしょうか。

令和4年度の特別展では、私たちの暮らしや産業・歴史・文化を支える水の恵みにスポットをあて、この町の過去・現在・未来を考えます。また、関連行事として記念講演会や現地見学会等も予定しています。詳細については順次町の広報やホームページ等でお知らせしていきます。

新型コロナウイルスへの警戒もまだ続きそうな状況下ですが、どうぞお楽しみに！



倉井用水と水神祠

町ホームページの当館情報はこちらからご覧いただけます。



新刊紹介 「いいづな歴史ふれあい館紀要第9号～飯綱町の自然・歴史・文化～」

2022年3月刊

<目次>

- ・ 富樫 均・中村芳人……………「飯綱町の文化財の特質と課題—特別展からの逆照射—」
 - ・ 早津賢二……………「飯縄火山研究の現状と課題」
 - ・ 竹下欣宏……………「火山灰層とローム層から見た飯綱町周辺の大地の生い立ち」
 - ・ 綿田弘実……………「縄文時代の飯綱町—丸山遺跡・小野遺跡・明専寺遺跡・茶麿山遺跡を中心に—」
- ◆今号には前ページで紹介した第2回、第3回の記念講演会をもとにした寄稿や、飯縄火山の研究、『飯綱町の文化財』展の報告等、町に関わる最新の論考が掲載されています。当館窓口にて販売価格1,000円で取り扱っており、バックナンバーもあります。公民館図書室・飯綱中学校図書館では閲覧、貸出しも可能です。ぜひご覧ください。

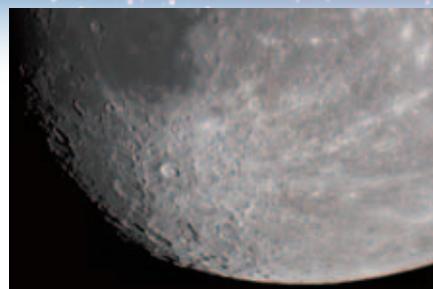
いいづな歴史ふれあい館 星空お出かけ情報

★ 令和4年度天体観望会予定表

【季節の星空観望会】

毎月第2・第4土曜日(12～3月第2土曜日を除く)は天体観測室を公開しての星空観望会開催日です。
お気軽におでかけください。

4月9日(土)・23日(土)	5月14日(土)・28日(土)
6月11日(土)・25日(土)	7月9日(土)・23日(土)
8月13日(土)・27日(土)	9月10日(土)・24日(土)
10月8日(土)・22日(土)	11月12日(土)・26日(土)
3月25日(土)	



2020年10月27日の月面
(当館の望遠鏡で撮影)

☆開催時間／19:30～21:00(5～7月)

19:00～20:30(上記以外の期間)

☆入場無料

【特別観望会】

5月4日(水祝)・5日(木祝)

10:00～13:00 太陽を見よう(一般は入館料が必要、飯綱町民無料)

11月8日(火) 18:00～20:00 皆既月食を見よう(無料)

☆35cm反射望遠鏡をはじめ10cm望遠鏡、双眼鏡などで季節の星空を楽しめます。

☆曇天・雨天の場合は中止します。

おことわり

☆当面の間、観望会は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底して、事前予約の定員制で開催する予定です。ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いします。予約方法・募集定員などの条件は町広報紙、ホームページなどでお知らせします。

☆今後の感染症の拡大状況により、日程などが変わる場合があります。

いいづな歴史ふれあい館

〒389-1211 長野県上水内郡飯綱町牟礼 1188-1 電話 026 (253) 6646 FAX 026 (253) 6649
HP アドレス : <https://www.town.iizuna.nagano.jp> (飯綱町ホームページ)
Eメール : rekifure@town.iizuna.nagano.jp